

樹木類のケムシ類に 適用拡大

環境省の公園街路樹等病害虫・  
雑草管理マニュアル事例集Vol.2に掲載中

農林水産省登録  
第23624号

少量注入でケムシや吸汁性害虫を防除

# ウッドスター<sup>®</sup>

殺虫剤／樹幹注入剤

ジノテフラン液剤

## 特長

優れた注入性

樹木への負担が小さい

安全性

優れた残効性

広い殺虫スペクトル

環境省のマニュアル  
掲載内容（抜粋）



ウッドスターの使い方  
マニュアル動画配信中



直接注入する場合



補助器を使用して注入する場合



5mmの孔で  
注入可能

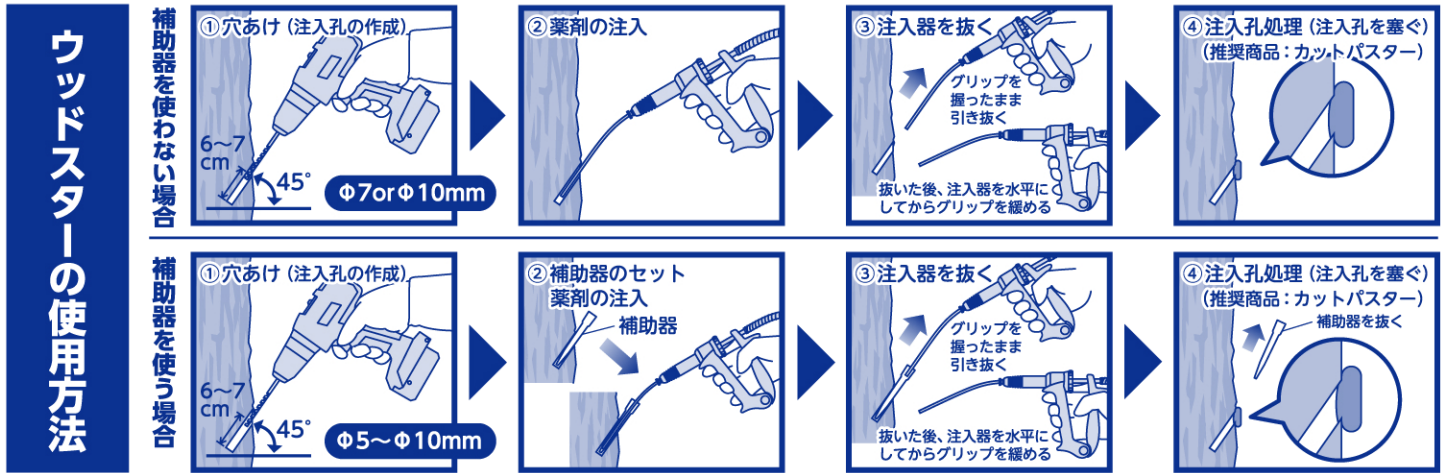
ウッドスター<sup>®</sup>はサンケイ化学株式の登録商標です。



株式会社 エムシー緑化



三井化学  
グループ



**適用害虫の範囲および使用方法**

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数	
樹木類 (つばき類を除く)	ケムシ類	胸高直径 6cm~10cm:8~12ml 10cm~20cm:12~24ml 20cm~30cm:24~36ml 30cm~40cm:36~48ml 40cm~50cm:48~60ml 50cm~60cm:60~72ml 以降、直径が10cm増す毎に12mlを追加する	幼虫発生前 ~発生初期 但し 新葉展開後	3回 以内	樹幹 注入	5回以内	
さくら	クビアカツヤ カミキリ	注入部直径 6cm~10cm:8~12ml 10cm~20cm:12~24ml 20cm~30cm:24~36ml 30cm~40cm:36~48ml 40cm~50cm:48~60ml 50cm~60cm:60~72ml 以降、直径が10cm増す毎に12mlを追加する	新葉展開後 ~落葉前まで				
	イラガ類	胸高直径 6cm~10cm:8~12ml 10cm~20cm:12~24ml 20cm~30cm:24~36ml 30cm~40cm:36~48ml 40cm~50cm:48~60ml 50cm~60cm:60~72ml 以降、直径が10cm増す毎に12mlを追加する	幼虫発生前 ~発生初期 但し 新葉展開後				
アメリカフウ	イラガ類	胸高直径 6cm~10cm:8~12ml 10cm~20cm:12~24ml 20cm~30cm:24~36ml 30cm~40cm:36~48ml 40cm~50cm:48~60ml 50cm~60cm:60~72ml 以降、直径が10cm増す毎に12mlを追加する	幼虫発生前 ~発生初期 但し 新葉展開後				
つばき類	チャドクガ	注入部直径 6cm~10cm:2ml 10cm~20cm:2~12ml 20cm~30cm:12~18ml 30cm~40cm:18~24ml 40cm~50cm:24~30ml 50cm~60cm:30~36ml 以降、直径が10cm増す毎に6mlを追加する	幼虫発生前 ~発生初期				5回以内 (株元灌注は2回以内)
プラタナス	プラタナスグンバイ	胸高直径 6cm~10cm:2ml 10cm~20cm:2~12ml 20cm~30cm:12~18ml 30cm~40cm:18~24ml 40cm~50cm:24~30ml 50cm~60cm:30~36ml 以降、直径が10cm増す毎に6mlを追加する	新葉展開後				5回以内
ぶな	ブナハバチ	胸高直径 6cm~10cm:2ml 10cm~20cm:2~12ml 20cm~30cm:12~18ml 30cm~40cm:18~24ml 40cm~50cm:24~30ml 50cm~60cm:30~36ml 以降、直径が10cm増す毎に6mlを追加する	新葉展開直前	5回以内			

**使用上の注意事項**

- ◆他剤との混用はさけてください。
- ◆樹幹の胸高直径または注入部直径が適用表に記載のない小径木や樹勢の弱った木、空洞や腐朽がある木、極端な老齢木には使用をさけてください。
- ◆適用表の小径木に使用する場合は、専用の注入補助器を挿入し使用、若しくは所定量を2孔以上に分散させてください。
- ◆対象木が二股以上に分かれている場合は薬剤が問題なく分散する様にそれぞれを1本の木と見なしして所定量を注入してください。
- ◆薬剤注入孔は、ドリル等を用いて注入部位に斜め下方向に45度の角度で開けてください。
- ◆薬剤の注入部位は以下の樹種、適用病害虫によって設定してください。
  - ①樹木類(つばき類を除く)、さくらのイラガ類、アメリカフウ、プラタナス、ぶなに使用する場合は、主幹部の地上高50~100cmを標準としてください。
  - ②つばき類に使用する場合は、主幹部の地上高10~30cmを標準としてください。
  - ③クビアカツヤカミキリに使用する場合は、注入部直径により注入量を決定し、注入部位は主幹部の地際部を標準としてください。
  - ④クビアカツヤカミキリに使用する場合は、すでに被害が認められている樹(多量のフラスが確認されている樹)は薬剤が分散しにくい場合があるので、クビアカツヤカミキリの食入孔をさけ注入してください。
- ◆薬剤の注入孔(直径、深さ)、注入量は以下の樹種、適用病害虫によって設定してください。
  - ①樹木類(つばき類を除く)、さくら、アメリカフウに使用する場合は、直径5~10mm、深さ6~7cmの注入孔を開け、専用注入器を用いて1孔当たり4mlを注入してください。なお、注入孔直径10mm未満で使用する場合は、必ず専用の注入補助器を注入孔に挿入し使用してください。
  - ②つばき類のチャドクガ、プラタナスグンバイに使用する場合は、直径5~7mm、深さ6~7cmの注入孔を開け、専用注入器を用いて1孔当り2mlを注入してください。なお、注入孔直径7mm未満で使用する場合は、必ず専用の注入補助器を注入孔に挿入し使用してください。
  - ③ぶなに使用する場合は、直径5~7mm、深さ3~5cmの注入孔を開け、専用注入器を用いて1孔当り2mlを注入する。なお、注入孔直径7mm未満で使用する場合は、必ず専用の注入補助器を注入孔に挿入し使用してください。
- ◆本剤の使用時期は、以下の樹種、適用病害虫によって設定してください。
  - ①樹木類(つばき、マツを除く)に使用する場合は、落花直後や展葉初期には薬剤が分散しにくいので、落花終了後の新葉が十分に展開した後に注入してください。
  - ②樹木類(マツ)に使用する場合は、注入時期により、樹脂流失による注入不良が発生するおそれがあるので、注入孔を開けたら直ちに薬剤を注入してください。
  - ③プラタナスに使用する場合は、落葉期や整枝剪定後の展葉初期には薬剤が分散しにくいので、新葉展開後に注入してください。
  - ④ぶなに使用する場合は、新葉の展開直前に注入することをおすすめします。
  - ⑤ケムシ類、イラガ類、チャドクガ、クビアカツヤカミキリを対象として使用する場合は、幼虫発生前に薬剤を注入することをおすすめします。
- ◆注入孔は癒合剤等で穴を塞ぐなど適切な処理を行ってください。特に地際部で使用した場合は降雨による土壌等の進入のおそれがあるため、必ず処理を行ってください。
- ◆本剤を処理した樹木をさきこ類のほだ木など栽培用には使用しないでください。
- ◆ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
  - ①開花期はミツバチ等に影響を及ぼすおそれがあるので、落花終了後に使用してください。
  - ②関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- ◆本剤は自動車、壁等の塗装面、大理石や御影石等に薬剤が付着すると変色するおそれがあるので、こぼさないように注意してください。
- ◆本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は関係機関、関係技術者等の指導を受けてください。
- ◆適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお関係機関、関係技術者等の指導を受けることをおすすめします。

**安全使用上の注意事項**

- ◆街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- ◆直射日光を避け、食品と区別して、なるべく冷却で子供の手が届かない場所に密栓して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所に置かないでください。

本印刷物は2021年2月現在の資料、情報、データ等に基づいて作成しています

MCRWS-2021.02